

## 平成27年度第2回川崎区区民会議（全体会議） 摘録

日 時：平成27年12月22日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

## 出席者（敬称略）

委員 13名

新井一成、新井トキ子、岩瀬絹代、知念ジョアンナ、塚原晴美、戸村正房、  
中村紀美子、朴昌浩、原千代子、深瀬欣之助、藤村 稔、森脇卓郎、山田義孝

参与 0人

傍聴 0人

## （進行：山口副区長）

## 1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 配布資料の確認

## 2 区長挨拶

## （大谷区長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、先日は、区民会議フォーラムにおきまして、多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

平成26年4月にスタートした第5期川崎区区民会議も残すところ3ヶ月あまりとなりました。これまでの審議において、会議室だけでなく、実際に現場に出向いて、熱心なご議論を重ねていただいております。

地域を育むまちづくり部会では、「地域防災マップのすすめ」や「わたしの防災手帳」といった成果物が完成しつつあります。

だれもがいきいき暮らす部会においても、「見守り活動に関する調査報告書」をまとめながら、すでに外国人市民向けの防災フォーラムを開催するなど、着実に成果を出していただいております。

3月まで残りわずかですが、最終報告の取りまとめに向けて、本日も積極的な議論を期待しまして、私の挨拶といたします。

しんこう あらい と き こいんちよう  
(進行：新井トキ子委員長)

### 3 議題

#### (1) 専門部会の進捗状況について

かくせんもんぶかい しんちよくじょうきよう  
各専門部会の進捗状況について、「資料1：「地域を育むまちづくり部会」  
しんちよくじょうきよう さいしゅうていあん ほうこうせい およ しりよう  
進捗状況及び最終提案の方向性について」及び「資料2：「だれもがいき  
いき暮らし部会」進捗状況及び最終提案の方向性について」を使用し、各  
ぶかいちょう せつめい  
部会長が説明した。

かくせんもんぶかい しんちよくじょうきよう おも いけん こめんと いか  
各専門部会の進捗状況について、主な意見・コメントは以下のとおり。

#### <地域を育むまちづくり部会について>

##### (防災対策の充実について)

ぼくいん ぼうさいてちょう くやくしょ としよかん こうきょうせつ お かぞく  
朴委員 防災手帳は、区役所や図書館などの公共施設に置くだけでなく、家族  
かいぎ もくてき しょうがっこう はいふ おも  
会議が目的のため、小学校で配布すると思います。

もりわきいん ぼうさいてちょう く ほーむぺーじ だうんろーど むね きさい  
森脇委員 防災手帳で、区のホームページからダウンロードできる旨が記載され  
ていますが、こうれいしゃ むずか おも こうれいしゃ げんぶつ わた ひつよう  
高齢者は難しいと思います。高齢者には現物を渡す必要があり、  
フォローしていくひつようがあるとおもいます。

ぼくいん こうれいしゃ はいふ こうれいしゃ かん みんせいいん きょうりよく え  
朴委員 高齢者への配布は、高齢者との関わりがある民生委員の協力を得て、  
はいふ こうれいしゃ わだい こうりゅう  
配布すると思います。高齢者との話題づくりや交流のきっかけに  
もなるとおもいます。

はらいん かわさきし はっこう ぼうさいてちょう じょうほうりよう おお も じ ちい  
原委員 川崎市が発行している防災手帳は、情報量が多く、文字も小さいので、  
ちいき はぐく ぶかい さくせい ぼうさいてちょう しんぷる  
地域を育むまちづくり部会で作成された防災手帳はとてもシンプルでいいと  
おもいます。だれもがいきいき暮らし部会で実施しているがいこくじんしんむ ぼうさい  
フォーラムは、ふ おーらむ ことし やく めい さんか こうれいしゃ  
今年約170名の参加がありました。高齢者もそうですが、  
がいこくじん かた じょうほうりよう おお つか けいこう ぼうさいてちょう  
外国人の方も情報量が多すぎるものは使わない傾向があり、防災手帳の  
たげんごか せひ すず ほ おも がいこくじんしんむ ぼうさい  
多言語化は是非とも進めて欲しいと思います。また、がいこくじんしんむ ぼうさい  
フォーラムなど、ふ おーらむ さまざま ぼうさい かん かつどう ば かつよう ていげん  
様々な防災に関する活動の場で、活用していくことを提言の  
なか も こ ほ おも  
中に盛り込んで欲しいと思います。

##### (子どもの遊び場づくりについて)

ぼくいん こ あそ ば  
朴委員 子どもの遊び場について、おや めせん かんが こ 子どもがどこで遊ぶ  
ているのか行き先が分かりますと安心できます。気軽に遊ぶこうえん みちか  
にあるといいと思います。

もりわきいん こうえん かじょう ていあん おも こうえん かんぼん み  
森脇委員 公園づくり5カ条はとてもいい提案だと思えますが、公園の看板を見

と、公園管理協議会こうえんかんりきょうぎかいで運営うんえいしている場合ばあひもあり、そういった団体だんたいとの関係かんけいは、  
どのようにお考えかんがですか。

戸村部会長とむらぶかいちよう 団体だんたいとの連携れんけいはとても大切たいせつだと思います。公園こうえんの管理運営かんりうんえいには  
周辺住民しゅうへんじゅうみんの協力きょうりょくが不可欠ふかけつであり、一緒にいっしょワークショップわーくしょっぷを実施じっししたり、  
公園こうえんの管理かんりのあり方かたについて議論ぎろんの場ばを設けたり、何らかの連携れんけいが必要ひつようだと  
考えかんがています。

### ＜くだれもがいきいき暮らす部会について＞

#### (地域における見守り活動の充実)

戸村委員とむらいいん 地域ちいきにおける見守り活動みまもかつどうに関する調査じゆうじつについて、調査結果かんを踏まえて、  
何か方向性ちようさを示すような提言ちようさけつをするといいと思います。

森脇委員もりわきいん 部会ぶかいの中なかでの議論ぎろんでは、調査報告書ちようさほうこくしょの概要版がいようばんの意図いととしては、  
アンケートあんけーとやヒアリングひありんぐで明らかあきになった成功事例せいこうじれいなどを含めて、各団体かくだんたいに  
周知しゅうちし、自分たちの今後こんごの活動かつどうに活用かつようしていただいたり、考えかんがていただいた  
りするものいけんがいいということで意見いけんがまとまりました。

#### (子育てを通じた世代間交流について)

新井(一)委員あらいかずいん 大師地区だいしちくでの第2回目だいにかいめの情報交換会じょうほうこうかんかいを傍聴ぼうちようさせていただきました。  
ぜひ中央地区ちゆうおうちく及び田島地区たじまちくでも開催かいさいに向けて検討けんとうをしていただければ  
と思います。

原部会長はらぶかいちよう 部会ぶかいの議論ぎろんでも他の地区ほかちくでの情報交換会じょうほうこうかんかいの開催かいさいについてご意見いけんが  
出ましたが、地域ちいきの状況じょうきようも異なり、田島地区たじまちく全体ぜんたいで開催かいさいすることは難むずかしい  
というご意見いけんが多く出ました。代替案だいたいあんとしては、小田のまちづくりクラブおだなど  
各地域かくちいきの団体だんたいが様々な活動さまざまかつどうを行っており、そのような各団体かくだんたいの活動かつどうをつなげ  
ていくことがいいのではないかとご意見いけんが出ています。今後こんごも検討けんとうを続け  
ていきたいと思おもいます。

戸村委員とむらいいん 情報交換会じょうほうこうかんかいで出された様々な地域だの課題さまざまちいきや問題かだいなどを提言もんだいにまとめ  
るといいと思おもいます。各団体かくだんたいの問題認識もんだいにんしきの共有きょうゆうになり、今後こんごつながっていく  
と思おもいます。

原部会長はらぶかいちよう まだ部会ぶかいでもその部分ぶぶんについて、議論ぎろんが深まふかっていない状況じょうきようで、  
大師地区だいしちくで情報交換会じょうほうこうかんかいを開催かいさいできたのは、石渡委員いしわたいいんの力ちからがおお  
ます。しかし、やはり継続けいぞくして開催かいさいしていくためには、どこが事務局機能じむきょくきのうを担  
っていくのかという部分ぶぶんが、検討課題けんとうかだいだと考えかんがています。提言ていげんに盛り込むもこに  
は、この点てんをクリアくりあする必要があるおもと思おもいます。

深瀬委員 地域によって格差があり、特に駅前などは人が住んでいない地区もあります。また、ワンルームマンションが多い地区もあり、まずは人集めから始めないといけない地区もあるのが現状です。

岩瀬委員 絵本の読み聞かせについて、絵本にも様々な種類がありますが、人と人との関わりといった目線で選定していくことも面白いと思います。

### (外国人市民も暮らしやすいまちづくりについて)

岩瀬委員 外国人市民との関わりについて、同じ区民として関わっていく場を作っていくことは大切だと思います。

知念委員 外国人の立場として、防災フォーラムは、とても新鮮で、説明なども外国人向けにシンプルな日本語を使ってくれて、分かりやすかったです。煙の体験などができることも魅力の1つだと思います。

新井(ト)委員長 私も参加しましたが、外国人の皆さんはとても楽しんでいて、良い雰囲気でした。

中村委員 体験することがとても重要で、体験をすれば、言語関係なく分かりあえるし、いざという時に役に立つと思います。

塚原委員 外国人市民の方がどの地域に多く住んでいるのか把握はしていますでしょうか。子育てをしていくに当たり、外国人のお母さんはとても不安があると思います。

原部会長 川崎区の保健福祉センターが、外国人のお母さん向けのサロンをやっている、ふれあい館とも連携しています。どの地域に多いのかは把握していませんが、昨年度、外国人市民の実態調査が実施され、今年度はインタビュー調査が実施されます。例えば、非漢字圏のフィリピン人やタイ人の方は、情報が文字からは伝わりにくいため、町会に関わることも難しく、教会などに行かないと日本社会との接点がないということが現状です。防災フォーラムにはそういった接点の場を啓発する意味も込められています。

中村委員 カトリック貝塚教会で開催した防災フォーラムは、宗教の関係で教会に多くの外国人が集まっており、区外から集まっている外国人の方もいました。

藤村委員 外国人市民へ情報周知の方法を検討する必要があると感じました。例えば、商店街でのイベントなどの開催のお知らせを外国人市民にしたいとできるツールがないのが現状だと思います。様々な連携で、情報共有ができればもっと外国人市民との関わりが増えるのではと思いました。

(2) 第5期川崎区区民会議報告書(骨子)について

第5期川崎区区民会議報告書(骨子)について、「資料3：第5期川崎区  
区民会議報告書(骨子)」を使用し、事務局が説明した。

(質疑なし)

(3) 審議スケジュールについて

審議スケジュールについて、「資料4：審議スケジュール」を使用し、事務局  
が説明した。

(質疑なし)

4 閉会

(大谷区長)

本日は長時間にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。単に  
行政に物申すだけの提言ではなく、さらに一歩進んだ審議をしていただいでいて、  
行政と市民が一緒になって地域の課題をどう解決できるかということを提言の中に  
盛り込もうとしていただいでいると感じました。

最終報告に向けては、まだ課題もあるかと思いますが、3月までに審議を進めて  
いただき、最終報告書を区長として受け取れることを楽しみにしています。1月、  
2月の専門部会についてもどうぞよろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

■閉会宣言

午後8時15分閉会

(以上)

## 「大島地区防災まち歩き」の実施結果

### 1 概要

地域を育むまちづくり部会で作成中の地域で防災マップづくりを推進するための冊子『地域防災マップづくりのすすめ（案）』を使って、大島地区で災害が起きたときに役に立つものや危険なものなどを見つけ、実際に地域防災マップ作りを体験し、『地域防災マップづくりのすすめ』の構成や課題を検証するために、大島2・4丁目にて「防災まち歩き」を実施した。

### 2 実施内容等

- (1) 日時 平成28年1月23日（土）13時～15時30分
- (2) 集合場所 向小学校（1階家庭科室）
- (3) まち歩き実施場所 大島2、4丁目
- (4) 内容

時 間	内 容
13時～13時30分	事前説明（まち歩きの方法、注意事項）、参加者紹介
13時半～14時20分	4班に分かれて、まち歩きの実施
14時20分～14時50分	班毎にまち歩きを実施して気が付いたこと（災害時に役に立つ箇所、危険箇所となり得る箇所）をマップに記入し、まとめる
14時50分～15時20分	各班でまとめた内容を発表、意見交換
15時20分～15時30分	閉会、アンケート記入

### (5) 参加者

区民会議委員（戸村部会長、新井一成委員、岩瀬委員、中村委員、桒瀬委員、朴委員、藤村委員）、大島2・4丁目町内会関係者、向小学校生徒・保護者、川崎消防署・川崎消防団員第4分団、川崎警察署など33人



実際にまちを歩いて、マップにチェック



お店の方にも話を聞きました



色別にチェック箇所を大きなマップにまとめます



班毎にチェックした内容を発表し、意見交換

## 6 アンケート抜粋

### ✓ 良かったこと

- ・（地元に住んでいても）細かいところまで見ながら歩いたことはなかったので、良い経験になった。消防署等、公的な立場の人のお話を聞くことができ参考になった。
- ・警察の方も一緒に、安心して歩くことができた。
- ・防災意識が高まった。
- ・全員が積極的に危険箇所などの発見に努めていた。
- ・普段、入ることのない細かい場所を確認するなど、地域に即した活動であり、有意義であった。
- ・住民や警察・消防等の行政機関、それぞれの意見を聞くことができ参考になった。
- ・みんなで色々な話をしながら歩くことで、新しい知識や気付きがあり、また、地域の方と顔見知りになれるのでとても良い機会であった。
- ・みんなでチェック箇所をひとつひとつ確認し、共通認識を持つことができた。地域を知る良い機会であった。今後も機会があれば参加したい。
- ・地域全体での防災意識の向上に役立つ取組である。
- ・井戸があったことが分かって良かった。みんなで歩いて確認することで、防災意識が高まって良かった。災害時に役に立つと感じた。

### ✓ 改善すべきこと

- ・まち歩きの地図のポイントが実物と一致していない箇所があった。
- ・道路いっぱいに広がってしまうことがあったので、役割分担に安全確認係を入れると、安全にまち歩きを実施できるのでは。
- ・まち歩きに夢中になり、後方からの車両に気付いていなかった。
- ・次回は、上下水道局など他の部局を増やして実施することも良いのでは。
- ・出発前の説明で「車道に広がらないように」といったルールについても再徹底を。
- ・小学生や中学生も参加できる良い。

### ✓ その他

- ・良い取組なので、区内全域の町内会に広がると良い。
- ・多くの人に防災に対する意識を共有してもらいたい。
- ・身近な避難場所や消火栓といった設備を把握することが、自分や家族の身を守る防災

の基本ではあるが、普段から周知できていることではないため、このような機会を設けて町内会という小さな単位で実施したことは重要であると感じた。

- 自分の身の回りにどのような防災設備があるのかなど、通勤・通学で少しずつでも知ることができるように呼び掛けることも重要であると感じた。
- 町内会・消防の協力により、地域防災マップづくりを進めていきたい。
- 年に1回は地域防災マップと照合するために、歩いて回る必要があると感じた。
- 今回、作成したマップを活用するとともに、今後活かしていければと思う。
- 危険な道路にはカーブミラーの設置を。消火栓に色付けはどうか。
- 町内会ではAEDの確保、津波避難所は課題となっているところです。なんとなく見えていたが、改めて街の風景（防災設備）を確認できた。
- 鋼管通2丁目町内会では、子供会の企画で、年1回、『街発見ウォークラリー』として、消火栓、マンホールなどをゲーム感覚でチェックする取組を行っている。このようなゲーム化した企画を小地域でやるもの一興かなと思う。
- 今回作成したマップをインターネットで公開するだけでなく、幅広く活用して欲しい。
- 自分の住むまちの環境を知ることが大事である。
- 自分のためにもなるので、地域の人に多く参加してもらいたい。
- 避難所（防災倉庫？）に鍵が掛かっていて、いざという時に役に立つのか心配になった。
- 町中にもっと消火器があった方が良い。